

2023 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会
活動テーマ	災害時のリハビリテーション支援の普及とレベルアップのための研修会開催と指導者育成の取り組み

「災害時のメンタルヘルスケア」
 ～サイコソジカル・ファーストエイド(Psychological First Aid:PFA)～
 日時:2023年6月19日(月)19時30分～21時
 開催形式:web会議サービス「zoom」を使用します
 ※ZOOM ID・PASSは申し込みいただいた方へお伝えします。

講 師
 大坂DPAT(災害派遣精神医療チーム)
 社会医療法人北斗会 さわ病院
 作業療法士 村上 恵子

第30回BHELP標準コース webコース
 受講生募集案内

BHELP(Basic-Health Emergency Life Support for Public)とは、「被災地での活動を効果的・効率的に実践するために災害対応における知識、共通の言語と原則を理解し、被災者の生命と健康の維持、災害発生直後からの被災地内での災害対応能力の向上に資すること」を目的とした日本災害医学会の教育コースです

日 時:2023年6月24日(土)9時00分～16時30分
 開催方式:web開催 (使用ツール:Zoom*(https://zoom.us/))
 ※通信環境の準備はご自身でお願いいたします
 受講対象:医療・保健・福祉に関連する専門職及び、その受験資格を得ることができる教育機関の学生、防災業務に従事する行政職員
 募集人数:24名 *定員に達し次第申し込みを完了する場合がございます
 受講料:6,000円 事前振込
 *受講採否の連絡時に振込先をご案内致します。入金確認後、受講確定となります
 コース運営責任者:大垣 昌之 (所属:愛仁会本部)
 主 催 :大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会

【コース概要】
 軸は CSCA+HH: Healthcare Triage (ヘルスケア・トリアージ)、
 Helping Hand (手を差し伸べる)
 Handover (つなぐ)

令和6年度
第1回 大阪JRAT研修会
大規模災害リハビリテーション
支援チーム本部運営ゲーム(REHUG)
 Rehabilitation Honbu Unei Game

対象 | リハビリテーション専門職 (Dr、PT、OT、ST)

日時 2023年9月3日(日) 13:00～16:30 (受付 | 12:30～)
 定員 先着20名
 参加費 1,000円 (テキスト代金)

会場 (会場へのアクセス方法はQRコードをご参照ください)
 大阪医療福祉専門学校(新大阪駅より徒歩1分)

本研修の概要
 災害時のリハビリテーション支援活動は多岐にわたります。今回はその中でも「本部」と言われる場所で行なっていることをカードゲームを通じて学ぶ研修です。本部内の役割を交代しながら、様々な事案に参加者が協力して対応することが経験できます。

令和6年能登半島地震での支援活動

災害時に避難所や仮設住宅で生活する障がい者や高齢者などの要援護者に対して、災害関連死や生活不活発病の予防のための効果的なリハビリテーション支援活動をしたい、そして被災地で実活動を行えるリハビリテーション専門職を増やしたいという目的で、当団体は毎年定期的に研修会を開催しています。1年間に約10回の研修会を行う中で、災害時に活動できる人材の裾野を広げ、また繰り返し研修を行うことによって指導者を養成することを目指しています。

2024年1月1日に発生した能登半島地震では、これまで研修を受けたメンバーがいち早く支援活動に参加し、学んできたことを生かすことができました。具体的には、活動本部の立ち上げと運営(REHUGで学習)、避難所での医療支援活動支援(BHELPで学習)、避難所および支援者が注意すべきメンタルケア(PFAで学習)を、全国から集まったリハビリテーション専門職と協働して行いました。

いざというときに活動できる人材および、その指導者を増やし、災害時の被災者支援が円滑にできるようにしたいと思っています。